

一 中生心得

峻嶺に輝く一中生たれ

一 中生へ

君たちは 大きな夢を持つのです
 そして その夢を 実現させようとする
 強い「意志」を持つのです
 そのとき

高くそびえる あの山よりも もっと高く
 立派に君たちは輝くのです

君たちは 厚い感謝の心を持つのです
 そして 相手を深く尊敬する

「謙虚な心」を持つのです
 そのとき

清くそびえる あの山よりも もっと高潔
 に君たちは輝くのです

君たちには どうか そういう本当の
 中学生になってほしいのです
 そして 本当の中学生になろうとする
 「精神」がいつまでも受け継がれて
 いてほしいのです

それが「願い」なのです

平成23年度

輝きの目標



3つの輝きをめざすために

輝くために

先生たちが取り組むこと

- 一 生徒がわかった・できたと教師も共に喜び授業づくりをします
 - ①基礎・基本の学力を定着させる授業改善に努める
 - ②小集団の学習活動を取り入れ、考えを交流し合う授業を創出する
 - ③一人一人の進路実現に向けて支援・助言を誠意を持って行う

- 二 自尊感情と他者尊重の心をはぐくむ道徳教育と人権教育を進めます
 - ①人間関係を形成するため、挨拶・感謝の言葉からコミュニケーションが図れるようにする

- 三 いつでもどこでも 誰でも 挨拶します
 - ①チャイムで開始終了、授業のあいさつを徹底する
 - ②部活動では挨拶で始まり挨拶で終わるようにする
 - ③学区内に挨拶の輪を広げる

- 四 黙々と掃除します
 - ①生徒会活動では全身を動かす膝つき清掃を推進する
 - ②教室環境、学年掲示物等への気配りができるようにする

輝くために

学校全体で取り組むこと

- 一 教職員間のかかわりを強くします
 - ①「心の居・触・充」(居場所・触れ合い・充足感)を大事にし、教師一人一人が理念・情熱を持って教育活動に邁進する
 - ②「報・連・相」の徹底による意思の疎通と心の和、互いの仕事内容の理解と助言を行う
 - ③「教科会」では、教科指導にかかわる情報交換や教材教具の改善を図る

- 二 地域・保護者との連携を図っていきます
 - ①「心の通い合うPTA」授業参観、学年・学級PTAを基盤に、一つ一つの活動を大事にして共通理解を図る
 - ②「保護者の気持ちになって」健全育成を大切にし、誠実に相談を進める
 - ③農具川清掃(3学年7月)「資源回収(全校8月)」「大町・平地区福祉大会参加(1月)」等、地域の活動へ積極的に取り組む